

クリニカルクラークシップに参加させていただいて

弘前大学医学部医学科5年 伊佐治真樹史

8月31日～10月2日まで、三沢病院での外科実習に参加させていただきました。今年は新型コロナウイルスの影響で、4月から約3か月間、病院に入っ
ての臨床実習が中止になりました。7月から再開した実習も、9月半ばまでは希望する学生のみ
の参加という形で、感染対策のために診療への参加も制限が加えられています。三沢病院でも毎
日の検温を実施し、マスクの着用など十分な感染対策を実施したうえで実習を行わせていただ
けることになりました。昨年の先輩方と比べて病棟での経験に乏しい状態で、初めは病院の患者
さんにご迷惑をおかけしないかと不安でした。



実習初日、車で病院につくと、美しい三沢病院の病棟にまず目が行きました。まだ新しい施設ということで、建物の
中も清掃が行き届いており、とても気持ちよく実習を始めることができました。医局には学生用の机(一部教科書付
き!)まで用意していただき、病院全体で実習のサポートの力を割いていただいていることが伝わってきました。

実習では主に手術見学、病棟回診に参加させていただきました。初日の朝回診では、指導医の池永先生から「WHO
の定める手指衛生のタイミングって知ってる?」と聞かれ、恥ずかしながら全く答えることができせ
ませんでした。手洗いの方法は授業や実習でも習っており、分かったつもりでいましたが、いつ、どのような
手段で手指衛生を行うかなど、細かなところまで正確に頭に入っていませんでした。抜管・抜鉤、内視鏡手術
のカメラ持ちなど、手伝わせてもらった手技はいずれも基本的なことでしたが、私が手を出す際には、先
生方から逐一、器具の操作や手順を指導いただき、単純な事でも、正確な手順を踏むことでより安全な手
技につながることを教えていただきました。

コロナ禍の中、あまり外出する時間は取れませんでした。実習が早く終わった日には、宿舎の周辺を
走ったりもできました。一面に広がる田園風景の中、少し涼しくなった秋の風を浴びながらのランニングはと
ても気持ちよかったです。東京から青森にきて4年になりますが、弘前からあまり出たことがなかった私にと
って、畑と牧場が広がる三沢市の風景はとても新鮮でした。三沢市では市内のいたるところに英語の看板
がたち、基地関係と思われる外国人の方も多くみかけます。見慣れない外国の食品を多く取りそろえた店
もあり、青森にいながら異国情緒を味わえる街は歩いてとても面白かったです。

最後になりますが、大変な状況の中で学生の診察に協力していただいた患者さんには改めてお礼を申
上げたいと思います。また、コロナ禍の中、学生を受け入れてくださった外科の松本先生、池永先生、久
保先生、板矢先生、菊池先生、病棟スタッフの方々、事務の方には感謝してもしきれません。三沢病院で
の経験を早く診療の現場で生かせるよう、これからの実習も頑張りたいと思います。1か月間、どうもありが
とうございました。

実習期間:2020年8月31日～2020年10月2日